

津山市の教育



安東伸昭

問 岡山県の最新データに対する市の対応は。

答 小学3年生から5年生と中学1、2年生で実施する。全国学力調査と合わせる。小学3年生から中学3年生まで、毎年学力の状況を全国と比較することが出来る。系統性の強い国語や算数では、各学年での学習内容のつまずきの様子をより具体的に把握することができ、学年や学級単位、個々の児童生徒の学習状況のデータから、成

◆**その他の質問項目**
29年度予算の関
係から
行政視察等から
の提言



問 岡山県の最新データに対する市の対応は。

答 小学3年生から5年生と中学1、2年生で実施する。全国学力調査と合わせる。小学3年生から中学3年生まで、毎年学力の状況を全国と比較することが出来る。系統性の強い国語や算数では、各学年での学習内容のつまずきの様子をより具体的に把握することができ、学年や学級単位、個々の児童生徒の学習状況のデータから、成

中学卒業まで医療費無料化を貫き通す！



市民と歩む会 村田隆男

問 子ども医療費助成制度の質は今回で7回目だがどう受け止めたか。

答 財政負担が伴うため段階的に進めてきた。この間、財源確保の提案もいただいた。都市間競争などの議論も参考に今議会に子ども医療費無償化を提案した。

問 子ども医療費無料化で若者が移住定住する町津山に波及効果はあると思うがどうか。

答 子育て世帯の経済的負担軽減の一助となり、子育

◆**その他の質問項目**
大型牽引車の点検修理と道路管理について



集客が期待される「道の駅久米の里」

問 高速道路から一時退出可能となる国土交通省の「賢い料金事業」で、道の駅久米の里の選定を期待したい。

答 選定要件は高速道路上の休憩施設の間隔が問題で今後の国の動向など注視したい。

て環境整備につながる。

費用対効果、はっきりしない南北自由通路



緑風会 秋久憲司

問 津山駅の南北自由通路は、費用

問 美作瀧尾駅は登録文化財だが、木造の駅舎が残る津山駅をはじめ、美作千代、東津山・高野・知和・美作河井の各駅を当時の状態に復元すれば価値が高まるのでは。

答 復元すれば歴史文化を活かしたまちづくりには有効である。駅所有者の意向などもあるので今しばらく研究・検討していきたい。



開設当時の津山駅（提供：江見写真館）

問 津山駅の南北自由通路は、費用対効果の測定数値が極めて悪いと思われる。隠さず公表すべきでは。客観的なデータに基づいて市民や関係者とよく協議しながら進めるべきではないか。

答 今後、説明会などを行い、市民の意見を十分聞いて進める。

◆**その他の質問項目**
財政状況について
これからの市営住宅について

横山最終処分場終了後どう対策



市政会 松本義隆

問 横山最終処分場の埋め立て終了後の対策は。地元からの要望にはどう応えたのか。

答 最終処分場の埋め立ては終了しているが、市が責任を持って適正な管理運営に努める。私（市長）が地元に向いて説明をする。

問 最大の予算編成で経常経費一律10%カットはどうか。説明するのか。

答 財政状況は、社会保障費等の増加で厳しい収支見



地元要望で道路の拡幅を（津山柵原線 横山地内）

問 塩手池水中花火への当初予算は、実質的に開催できないトリック予算になっていないのか。今年も開催できないのでは。

答 観光イベントへの補助金は、全体的に削減の5割未満とする考え方。開催の可否は、実行委員会での判断による。

津山圏域定住自立圏形成で広域の交通網は



緑風会 森西順次

問 近隣5町との間で結んだ津山圏域定住自立圏形成で広域の交通網は考えているのか。

答 「津山市地域公共交通網形成計画」では、市内と市外を相互に連絡する「公共交通軸」を設定する。具体的には、（仮称）「津山圏域公共交通連絡協議会」を立ち上げ、各自治体の現状などについて意見交換を行い、広域あるいは自治体間の公共交通網の再編や公共交通拠点などにつ

◆**その他の質問項目**
連携中核都市圏形成



安定した公共交通の形成を望む

いて協議を深めていく。公共交通における乗務員確保を目的とした「2種免許取得支援事業」、本市と鏡野町間におけるバス交通網の再編検討を目的とした「津山・鏡野間バス連携事業」を予定している。

鏡野町営バスの市内乗り入れは



津山誠心会議 中島完一

問 津山市と鏡野町とは、定住自立圏協議においてバスの相互乗り入れなどの協議を行うということだが、現時点でどのような協議なのか。

答 津山市及び鏡野町における津山・鏡野間バスの要望を図るアンケート調査や現状の公共交通概況調査の結果を踏まえて、具体的なルートを検討するが、鏡野町の町営バスの集約拠点である「PLANT5」と津山市のバス乗継拠点等との連結



バス路線で鏡野町と連携

路線や広域農道を走行する路線、工業団地を走行する路線などが想定される。また方式としては、町営バスやごんごバスの相互乗り入れ、既存のバス路線の新たな活用、低利用路線の再編再活用などが想定される。

◆**その他の質問項目**
平成29年度当初予算